

平成30年度第2回県政モニターアンケート調査結果

国体・全国障害者スポーツ大会局
 総務企画課企画広報係
 TEL：099-286-2874

- 1 テーマ 第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」及び第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」について
- 2 調査目的 2020年に本県で開催する第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」と第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」（以下、「両大会」という。）の認知度及び認知方法を把握し、開催に向けた今後のPR活動等の取組の参考とする。
- 3 実施年月 平成30年5月
- 4 調査対象者 200人
- 5 回答者数 150人（回答率75.0%）
- 6 調査結果

問1 2020年に両大会が、鹿児島県で開催されることを知っていますか。

項目	回答数	割合		回答数	割合
両大会とも開催されることを知っている	104	69.3%	両大会もしくはいずれかの開催を知っている	135	90.0%
「燃ゆる感動かごしま国体」が開催されることは知っているが、「燃ゆる感動かごしま大会」が開催されることは知らない	29	19.3%			
「燃ゆる感動かごしま大会」が開催されることは知っているが、「燃ゆる感動かごしま国体」が開催されることは知らない	2	1.3%			
両大会とも開催されることを知らない。	15	10.0%		15	10.0%
計	150	100.0%		150	100.0%

問2 「燃ゆる感動かごしま国体」または「燃ゆる感動かごしま大会」が、鹿児島県で開催されることを何で知りましたか。（複数回答可）

項目	回答数	割合※
テレビ・ラジオ	87	64.4%
新聞	68	50.4%
県発行の広報誌（グラフかごしま、県政かわら版）	65	48.1%
両大会のポスター、チラシ	61	45.2%
市町村のイベントや広報媒体	40	29.6%
家族・知人	27	20.0%
両大会の横断幕、のぼり旗	26	19.3%
県の両大会事務局発行の広報誌（カゴスポ）	23	17.0%
競技団体の大会や広報媒体	17	12.6%
両大会の広報グッズ	10	7.4%
県が実施したイベント、講習会	9	6.7%
両大会のホームページ	7	5.2%
その他	6	4.4%
回答者数	135	

※回答者数に占める回答数の割合

(その他)

- ・市営プールに貼ってあった掲示物。関係団体に勤務しているため。
- ・東京オリンピック・パラリンピック招致と同時に各地自治体の招致運動
- ・このアンケートで知りました
- ・少年団の子供の育成，国体選手を育てる案内。
- ・屋久島町役場，各支所にポスターが貼ってあります。

問3 両大会の愛称が「燃ゆる感動かごしま国体」及び「燃ゆる感動かごしま大会」，スローガンが「熱い鼓動 風は南から」，マスコットキャラクターが「ぐりびーファミリー」，イメージソングが「ゆめ～KIBAIYAN SE～」であることを知っていますか。(複数回答可)

項目	回答数	割合※
マスコットキャラクターは知っている	83	61.5%
愛称は知っている	76	56.3%
スローガンは知っている	60	44.4%
イメージソングは知っている	11	8.1%
全て知らない	25	18.5%
回答者数	135	

※回答者数に占める回答数の割合

問4 あなたがお住まいの市町村では，何の競技が実施されるか知っていますか。

項目	回答数	割合
(1競技以上)知っている	73	54.1%
知らない	63	46.7%
無回答	14	10.4%
計	135	100.0%

問5 あなたは，両大会に何を期待しますか。(複数回答可)

項目	回答数	割合※
鹿児島県のイメージアップ	92	68.1%
スポーツ環境の整備	79	58.5%
県内選手の競技力向上	68	50.4%
地元経済への波及効果	62	45.9%
同年(2020年)に開催される東京オリンピックとの相乗効果	58	43.0%
県民の障害者スポーツ活動への関心や理解の浸透	57	42.2%
県民のスポーツ活動への関心や参加意欲の向上	54	40.0%
県民のスポーツ活動への参加による体力の向上や健康の保持増進	54	40.0%
障害者スポーツの普及と環境整備	51	37.8%
地域の活性化や地域コミュニティの充実	44	32.6%
おもてなしの心の浸透	37	27.4%
県民のボランティア活動への参加意欲の向上	36	26.7%
その他	4	3.0%
回答者数	135	

※回答者数に占める回答数の割合

(その他)

- ・スポーツを通じての地域交流
- ・財政悪化にならないこと
- ・30～40年前はオリンピックに次ぐBIG EVENTであった。今は期待も何もなくなった。この機会にスポーツの大切さを県民に広く知らせてほしい。
- ・国体は全国で2巡目なので，そろそろ取りやめてほしい。費用がかかりすぎだと思う。鹿児島は今からでも行わないことを宣言してほしい。

問6 両大会の周知と気運の醸成を図るため、どのような広報活動が効果的だと思いますか。（複数回答可）

項目	回答数	割合※
テレビ・ラジオによる情報発信	113	75.3%
両大会のポスター掲示やチラシの配布	95	63.3%
新聞による情報発信	89	59.3%
横断幕・のぼり旗等の設置	63	42.0%
ツイッターやフェイスブック等SNS（ソーシャルネットワークサービス）による情報発信	59	39.3%
広報誌の発行	56	37.3%
各種イベントの開催	53	35.3%
ホームページによる情報発信	39	26.0%
広報グッズ（ノベルティ等）の配布	37	24.7%
その他	6	4.0%
回答者数	150	

※回答者数に占める回答数の割合

（その他）

- ・情報発信手法として、見聞きする側は興味がないとインターネット等で検索する気はないのでテレビCMとかの方が効果的と考える。
- ・「大会がある」ということの情報告知だけでなく、一人一人が「どのように関わることができる」「関わることで楽しめるか」という情報の拡散
- ・周知は周知でも活動・行動等のイベントで県民の関心UPを図って欲しい。
- ・競技紹介（なじみのない馬術やフェンシングルールや見方など）
- ・スポーツ少年団や部活動生への周知
- ・広報紙等での有望選手の紹介やテレビ出演など。

問7 両大会にどのように関わりたいと思いますか。（複数回答可）

項目	回答数	割合※
競技会場での観戦や選手の応援	98	65.8%
自然環境、歴史・文化、食などの鹿児島らしい魅力の情報発信	56	37.6%
来県者をおもてなしでお迎えする花いっぱい運動や環境美化運動	44	29.5%
県民なら誰でも参加できるデモンストレーションスポーツへの参加	41	27.5%
関心や適性に合った生涯スポーツへの取組	34	22.8%
会場案内などの大会運営ボランティア	32	21.5%
スポーツ教室など各種スポーツイベント等への参加	30	20.1%
総合開閉会式への出演や式典前演技への参加	15	10.1%
イメージソングの歌唱や吹奏楽の演奏、ダンスの演技	13	8.7%
関わりたいと思わない	11	7.4%
選手として参加	4	2.7%
その他	5	3.4%
回答者数	149	

※回答者数に占める回答数の割合

（その他）

- ・どのように関わることができるのかということを知らないので、これから少し知ってみようと思います。
- ・「関わりたい」と思うようにうまく県民をLEADしてほしい。
- ・食イベントがあれば食べに行きたい。
- ・奄美が会場になっているかわからないので。
- ・開催地域でのおもてなし。
- ・審判

問8 その他、御意見・御感想をお聞かせください。 ※抜粋

(広報の方法)

- ・障害者スポーツ大会も同時に行うことをもう少し、宣伝すべき。くりぶーが多すぎの懸念。イラスト案：1人の障害者をグリブーとサクラ2人が支える絵とか・・・
- ・問6でも書きましたが、「かごしま国体がある」という告知だけでなく、「どのように皆と関係があるのか、関係をもてるのか、参加できるのか」という情報が広がる仕組みづくりが大切だと思います。学生の参加するものだと認識していました。「かごしま国体」という名前は知っていましたが、かごしまで開催される高校総体みたいなものかと勝手に思っていました。周りも何人もです。
- ・応援に行きたくなるような面白いキャンペーン。テレビで選手紹介とかしても、全然面白くない。
- ・JR、離島、空港の発着場に手話通訳者と聴覚障害者の配置を。
- ・県民一人一人への細かい周知が足りない。(もっとPRを推進する。)県事務局は一生懸命さはわかるが、市町村は何をやっているのかわからない。
- ・今ではテレビと同じぐらいの情報発信量のツイッターやインスタ等のSNSを使って広告、情報発信をした方がよいと思います。テレビ、ラジオ、新聞では、大人・高齢者をターゲットにして、SNSでは若い人を達を特にターゲットにする。
- ・かごしま国体や東京オリンピックが話題になっている反面、全国障害者スポーツ大会にも国民一人一人が目を向けるべくメディアを中心にPRがもっと必要だと思います。
- ・住まいの市町村で身近に競技が実施されるので、「おもてなし」で市町村民が関心をもつようにもっと自治体がPRした方がよいと思う。市町村の取組が弱い。アンバランスが大きく感じる。
- ・両大会が事前にわかりやすい日程表等がほしい。
- ・離島という状況からなのか、国体の開催は知っていても、まだ実感が湧いてこない。スポーツは好きだが、何を観戦したいか具体的な物が無い。
- ・今ひとつ盛り上がり欠けているように思われます。イベントの開催や有望選手のテレビ出演や競技の紹介などを積極的に実施してほしい。

(国体・大会のあり方)

- ・国体後の継続的な施策が必要(一過性にしないため)
- ・かごしま国体・かごしま大会の年だけではなく永久的に鹿児島島の競技レベルが上がり、併せてスポーツに親しむ県民が増える事を期待したいと思います。
- ・「国体は形骸化している」というイメージが強いので、そういった「堅苦しい感じ」のない大会がよいと思います
- ・国体自体のあり方を再考する必要があるのでは?開催県が1位にならなくてはならないのか?
- ・国体はその役割を終えていると考える。国民既に多くのスポーツに親しんでおり、競技会などは全国・世界に多く開かれており、何も国や地方自治体が主催して開く必要は全く感じない。すぐに取りやめるべきだ。
- ・天皇杯・皇后杯得点争奪のための、過度な強化計画をチェックし是正してください。特に少年男女種別の、強化指定選手たちへのケアを具体的に責任体制を明確にしてください。

(国体・大会の運営)

- ・子どもでも参加できそうなスポーツがあればうれしいです。(小学生になっていない子ども)
- ・競技会場への交通アクセス、駐車場等の整備を早急にする必要があります。
- ・会場の整備をお願いします。県内外から多くの観戦客やアスリートが来県されるわけですので、大会会場の整備等を充実してほしいと思います。
- ・島に居るとなかなか観戦、参加などができないが、できる範囲で関わりたい。
- ・鹿児島を「花いっぱい街」にしてほしい。約50年前のように。県と市が連携して取り組むことを期待する。私は、薩摩川内市の行政改革推進委員を担当していますが、その会議においても「花いっぱい」の話が挙がっています。予算も組んで対応してほしい。